

第15回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が3月25日に交流センターに於いて、関係者49名が出席し開催されました。また、前回に引き続き、飯田市より担当職員が出席し、「大鹿村のリニア工事で生じる発生土の活用について」再度説明がありました。以下に協議会の概要をお知らせします。

① (主) 松川インター大鹿線改良工事について (長野県より)

- 道路拡幅工事(区間1・2)は契約手続きが終わりました。
- 防災工事(全8箇所)工期:令和2年5月頃までを予定
- 道路情報提供設備:西下・東山トンネル カメラ設置
四徳大橋 対向車センサー設置

- : 工事完了箇所
- : 施工中箇所
- : 防災工事 工事完了箇所
- : 防災工事 施工中箇所
- : 防災工事 施工予定箇所
- : 災害復旧箇所



●河川内道路の利用計画(河川内道路の延長 3.3 km)

1. 供用開始時期: ゴールデンウィーク明け(予定)
2. 利用方法: 一方通行(大鹿村→松川方面の車両) ※大鹿方面への車両は現道を利用。
3. 利用時間帯: 7:00~17:00 ※夜間及び日・祝日は現道を交差通行とします。
4. 利用期間: 道路拡幅工事完了までの間
5. 維持管理: 他の県管理道路と同様に長野県で管理します。
6. 通行車両: 二輪車、普通自動車、中型自動車、大型自動車(歩行者は通行不可)
特殊車両は、別途「許可」及び協議が必要
7. 安全対策: ダム放流による影響を受ける恐れがある場合は通行止め
起終点に誘導員を配置、防護柵注意看板の設置、利用時間外はゲートにて進入禁止

■南アルプストンネル発生土活用について(飯田市より)

- 掘削土の運搬時期について、河川内道路供用開始後(ゴールデンウィーク明け)から令和2年9月(予定)とすることとなりました。
- 運搬時間帯: 8時~17時
- 運搬台数: 1日最大片道100台(日曜日は運搬を休止)

■小渋線 工事用車両通行台数の実績(2月)と今後の予定(4月~6月)について

	渡場交差点(台/日・往復)
令和2年2月 実績	19.3
令和2年4月~6月 予定	57.0
令和2年5月~6月 飯田市事業への運搬(別掲)	200.0

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

② 南アルプストンネル工事について

【赤石岳公園線改良工事】

- 拡幅工事をしておりました区間10（日向休）が3/23に完了しました。4月13日に供用を開始しました。これを以って、JR東海による赤石岳公園線の改良工事（拡幅予定箇所：10箇所）が終了となります。

【小渋川非常口】

- 先進坑の延長約1600mのうち、約2割の掘削が完了しました。
- 村総合グラウンドは、発生土による造成は概ね完了し、照明設備や安全設備等の工事を行っています。
- 小渋川非常口からの発生土は、仮置き場E（変電所用地）に運搬するとともに、代替地整備事業の準備が整い次第、飯田市により活用していただきます。

【小渋川非常口の状況】

- 小渋川非常口から掘削を進めている先進坑において、先進ボーリングを実施した結果、蛇紋岩が確認されました。確認された蛇紋岩には石綿鉱物の一種が含まれていました。
- 今後の対応として以下の対策を講じます
 - 坑内において散水等による飛散防止
 - 坑内において集塵機により飛散粉塵を回収
 - 非常口ヤード周辺において大気中の石綿粉塵濃度を測定
- 先進坑掘削土は、当面の間、坑内に仮置きし、本坑掘削時に合わせて、坑外に搬出することになりますが、その際には改めて説明します。

【除山非常口】

- 斜坑延長（1,850m）の約6割の掘削が完了しています。

【釜沢非常口】

- 釜沢非常口は、3月3日から斜坑の掘削を開始しました。
- 発生土仮置き場B（三正坊）は昨年10月から造成工事を行っています。
- 発生土仮置き場A（除山横）は環境保全計画書等の更新を2月6日に行いました。準備が整い次第、5月より準備工事を開始する予定です。



■大鹿村内工事用車両通行台数（台/日・往復）

	①大鹿 中学校前	②大鹿村 役場前	③下青木 薬師堂前	④沢戸橋	⑤福德寺
R1. 12 実績	28.3	41.8	31.4	54.4	13.3
R2. 1 実績	0.9	15.0	73.9	113.1	6.9
R2. 2 実績	11.5	26.5	16.7	37.4	18.4
R2. 4～6 予定	0.0	60.0	32.0	56.0	25.0
R2. 5～6 飯田市事業への運搬（別掲）	0.0	200.0	0.0	200.0	0.0

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

■工事用車両迂回路の整備状況等について

- 工事用仮栈橋①は、桁の設置工事が完了しました。
- 栈橋①から新小渋橋の道路整備については、3月16日から工事に着手しました。道路整備の完了時期は6月末を予定しています。
- 迂回路（栈橋①から新小渋橋間）の供用開始時期は7月初の見込みとなるため、引き続き、現行ルートを工事用車両が通行いたします。



③ 伊那山地トンネル（青木川工区）について

■青木川非常口ヤードの施工状況

- ・小渋川非常口から発生土の搬入を行い、トンネル仮設備部の地盤置換え、坑口部の押さえ盛土工が完了しました。トンネル掘削の準備工として、土砂ピット及びトンネル仮設備の設置等を引き続き行います。トンネルの掘削は、今年の夏頃から開始する予定です。

■儀内路基盤整備事業 施工状況

- ・儀内路基盤整備事業は、3月に国道152号（北入地区）の補修工事を行い、工事が完了しました。



④ 国道152号改良工事の施工状況について



- ・区間1（堂垣外）：4月中に供用予定
- ・区間2（ 〃 ）：2月に完了し、供用済
- ・区間3（下古川）：4月から調査実施予定
- ・区間4（上古川）：6月から工事開始予定



⑤ 公共災害復旧事業等によるリニア発生土活用実績について

・村および県では、村内の災害復旧事業等の公共事業にリニア発生土を活用しました。

	工事名等	路線・箇所等	時期	土量m3	備考
①	H30.10.1 台風 24 号による被災 ・公共土木施設災害復旧	・(村) 赤石線 コゴロメ	R1 年 6 月	240	仮置き場 B (三正坊) より運搬
②	H30.9.5 台風 21 号による被災 ・公共土木施設災害復旧	・(村) 和合線 若宮橋	R1 年 7 月	110	仮置き場 E (小渋川変電所) より運搬
③	H30.9.4 台風 21 号による被災 ・公共土木施設災害復旧 ・公共土木施設災害復旧 ・豪雨災害農地復旧	・(一) 青木川 ・(村) 堂垣外線 ・堂垣外	R1 年 9 月～ 11 月	3,150	仮置き場 E より運搬
④	・村道改良 (仮設道設置・撤去)	・(村) 上蔵河原線	R1 年 6 月～ 9 月	(300)	仮置き場 E より運搬撤去の際は村総合グラウンドへ運搬
	計 4 箇所 (うち仮設 1 箇所)			3,500 (300)	

⑥ 鳶ヶ巣沢環境対策事業について

【事業計画】

・大鹿村では、JR 東海が施工するリニア中央新幹線工事に関連し、鳶ヶ巣沢において発生土を利用した環境対策事業を計画しています。

【技術検討委員会による検討】

・この盛土計画が適切な計画となるよう、学識経験者が第三者の立場から照査する技術検討委員会を設立し、準備会を含め計 4 回の委員会を経て計画案について了承を得て、令和元年 7 月審議を終了し、昨年 12 月末砂防フロンティア整備推進機構から村に設計照査結果報告書を提出いただきました。

【照査結果の特徴】

1. 盛土工について

・鳶ヶ巣沢の盛土は安定計算を実施し、安定性を確保している。
・鳶ヶ巣沢の盛土では耐震設計を行っているため、十分な耐震性を有している。
・盛土の押さえとして、護岸工の背面(盛土下端部)に土留め壁を設置し、護岸工と分離した構造にすることにより、洪水等に対しても盛土の安全性を確保している。

2. 堰堤工について

・鳶ヶ巣沢に計画している堰堤工は、長野県の砂防事業で使用される設計基準を適用しているが、より安全性を確保するために、地震時の荷重等を考慮した設計を実施しており、公共事業で建設される同規模の砂防堰堤を超える安定性及び耐震性能を有している。

3. 護岸工について

・盛土の脚部に計画する河川護岸は、天竜川上流河川事務所が建設する河川護岸に準じた構造としており、直轄施設と同等の安定性を有している。

4. 安全管理について

・施工時と施工後のいずれの場合においても、JR 東海が観測機器等を設置し、盛土等の安全管理を行います。
・施工後の盛土表面の目視点検、排水側溝の点検清掃等の簡易の日常点検については大鹿村で行います。

○今後の予定

・今後、設計照査報告書の内容を精査し、関係者との協議を踏まえ、最終案を作成し、改めて最終案の説明を行うとともに村ホームページで公開を行う予定です。
・また、照査結果を踏まえ、具体的な工法検討のため、4 月末までに鳶ヶ巣沢と小渋川の合流部において地盤改良の試験施工を行います。

■中部電力による送電線工事について

・中部電力より工事の進捗状況について説明がありました。上蔵地区 (No29 鉄塔) について伐採が完了、北の原地区 (No27 鉄塔) について基礎工事、仮整地まで完了。No29 鉄塔については、今後特殊車両にて重機を運搬し、基礎工事を行う予定です。実施時期等については、関係地区の皆さまに回覧にて周知する予定です。

○次回 (第 16 回) 開催日程等について

・次回開催時期を令和 2 年 6 月 22 日の週とし閉会しました。

